

## 経営発達支援事業の実施内容

## 1. 地域の経済動向調査に関すること

## (目的)

地域の経済動向や企業経営動向を把握し、適切かつ効果的な施策を推進する基礎資料として活用するとともに、地域内企業の経営判断の参考資料として役立てる。

また、平成 27 年度に実施した、小規模事業者アンケート調査結果のデータについて、個別経営課題の解決に向けた基礎資料として活用。

## (事業内容)

## ①景況調査の実施

全国商工会連合会が実施する中小企業景況調査により経済動向を調査し、全国商工会連合会や岡山県商工会連合会が四半期ごとに纏める景況調査報告書を個別の経営支援に活用。

調査業種	30年度 目標	実績
製造業	5件	3件
建設業	5件	5件
小売業	5件	5件
サービス業	5件	5件
合計	20件	18件
調査回数	4回	4回

調査項目
①3ヶ月間の月別売上額
②前年同期間と比較した売上額、単価、数量・仕入単価、採算、従業員数等における「増加」・「不変」・「減少」の状況
③今期及び来期の設備投資計画
④直面している経営上の問題点
⑤自社が感じる業界内の状況

## ②小規模事業者アンケート調査の活用

平成 27 年度に実施した調査結果を踏まえ、個別経営支援を実施した。

地域内の小規模事業者に対し、下記の項目を調査

①直近3年間の経営状況（増益・減益）
②現在と10年前と比較した売上上位を占める商品及びサービス
③経営上の問題点（上位3つ）
④現在の事業を今後どうしたいか（拡大・現状維持・縮小・廃業を検討）
⑤各種支援施策の認知と活用状況
⑥革新的な取り組みや新分野進出への意向
⑦後継者の有無
⑧地域の課題（上位3つ）

## (実施結果)

景況調査の実施にあたり、年度途中で廃業となった調査対象事業所（製造業）の後任となる調査協力事業所の選定に苦慮し、目標件数に至らない結果となった。

## 2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

### (目的)

経営資源が乏しい小規模事業者は、自らの独自性や強みを保有する経営資源の分析について、適正な評価を行うことが困難であることから、巡回訪問による現地調査や未整備の経営・財務情報等の集約、データベース化、分析により、適正な経営資源の評価を行うとともに、支援施策の活用につなげる。

### (事業内容)

#### ①クラウド会計システムの活用（小規模支援会計momo）

利用事業者の会計情報から得られる、損益分岐点、経営分析表、キャッシュフロー等の財務データを事業計画策定等に活用した。

#### ※小規模支援会計momo

入力された記帳データを地域別や業種別などの切り口で集計し、統計を取ることで、小規模事業者の経営動向を迅速に把握することが可能となる岡山県商工会連合会が独自で開発した記帳機械化システム。

#### ②決算データを活用し、業務内容を把握

決算指導を実施している小規模事業者の決算データを「小規模事業者支援システム」に取り込み、データベース化を実施。財務諸表から、収益性や効率性等を地域内や業界平均値と比較し、小規模事業者の事業評価につなげた。

#### ③巡回訪問による現地調査

巡回訪問により、個社の商品やサービスの提供に関する情報を収集。収集した情報は、「小規模事業者支援システム」により、カルテとともにデータ化を実施。

小規模事業者の強みを把握し、「小規模事業者持続化補助金」等の支援施策の活用につなげた。

#### ※小規模事業者支援システム

岡山県商工会連合会が独自で開発したシステム。岡山県下商工会の支援状況をカルテ入力することで、財務情報や金融情報、事業計画の策定とそのフォローアップ支援状況が一括管理され、統計データが常時活用可能なシステム。

支援内容	30年度目標	実績
経営分析件数	150件	241件（153件+88件）

### (実施結果)

150件の目標に対し、241件の実績となった。クラウド会計システム（88件）の活用とともに巡回訪問や小規模事業者持続化補助金等の活用による調査件数（153件）により目標を達成。決算データの活用については、平成29年3月よりデータベース化を進めている。

### 3. 事業計画策定支援に関すること

#### (目的)

小規模事業者の経営課題の解決を図るため、経営分析や地域経済動向調査結果を踏まえ、事業計画策定に係る伴走支援の実施とともに、岡山県商工会連合会や岡山市等と連携し、事業の持続的発展を図る。

また、岡山市と商工会等が連携する「おかやま創業ネットワーク」を中心に、地域内における創業支援を実施する。

#### (事業内容)

##### ①事業計画策定個別相談会の開催

本年度は集合によるセミナー形式の経営計画策定支援を改め、自社の売上向上に向けた専門的課題の解決を図るための事業計画の策定支援として、中小企業診断士等の専門家を定期的に派遣した。既存事業のヒアリングや改善項目の抽出など行うと共に、事業計画書の重要性や必要性を説き、事業計画書作成に関する助言指導を行った。

- 専門家 5名
- 実施回数 23回
- 指導事業者数 17事業者

##### ②創業セミナーの開催

本年度は、おかやま創業ネットワークによる岡山市内支援機関が実施する創業セミナーの周知活用から、管内創業希望者の支援に繋げた。

##### ③小規模事業者向け事業計画の策定支援

経営指導員の巡回訪問により、各種補助金の活用から事業計画の策定・実施を通じた経営課題解決へのメリットを提案。「経営革新計画」の策定や「小規模事業者持続化補助金」等の施策活用を通じて、具体的な事業計画の策定と伴走支援に繋げた。

##### ④創業希望者の掘り起しによる創業計画策定支援

「おかやま創業ネットワーク」による他の支援機関との情報共有により、創業希望者の情報収集に努め、ホームページや会報紙での情報提供を行った。

支援内容	30年度目標	実績
経営セミナー・個別相談会の開催 (巡回個別訪問)	セミナー 20名×2回 個別相談会 5名×2回	個別相談会 23回 指導事業者数 17事業者
創業セミナーの開催	セミナー 10名×1回	未実施
事業計画策定事業者数	50名	69名
創業計画策定数	8名	11名

### (実施結果)

中小企業診断士等の専門家と経営指導員との帯同による事業計画策定個別相談会を定期的に実施した結果、支援先事業所17事業者を含む経営力向上計画の認定が3事業者、持続化補助金の認定が29事業者となり、持続化補助金の認定のうち3件は海外への販路拡大支援に繋がった。

その他、事業承継計画支援など、各事業者の支援ニーズを踏まえた事業計画の作成支援を行った。

創業支援では、商工会窓口へ創業相談に来られた方に対する創業計画策定支援が11件となり、おかやま創業ネットワーク等を介した創業セミナー情報の周知や、本会ホームページによる情報提供から目標を達成した結果となった。

## 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

### (目的)

事業計画を策定した小規模事業者に対し、計画の遂行に係る課題に対しての助言指導を行うことにより、計画の実現性と成果の向上を図る。

### (事業内容)

#### ①巡回訪問によるフォローアップ

経営指導員による巡回訪問を定期的に実施し、事業計画における実施項目の確認や計画目標値に対する達成度等の確認に加え、事業計画の軌道修正を含めた継続的なフォローアップを実施。

#### ②創業者に対するフォローアップ

創業1年目から3年目となる創業者を重点的に、巡回訪問による支援を実施。

#### ③専門家の活用

事業計画の実施において、計画通りに遂行できない場合について、ミラサポの活用とともに、岡山県商工会連合会と連携した専門家の現地派遣による助言指導を行い、計画の修正を実施。

#### ④小規模事業者経営発達支援資金貸付制度の活用

事業計画の実施に係る資金調達に際し、小規模事業者経営改善資金貸付制度(通称：マル経融資制度)や、小規模事業者経営発達支援資金貸付制度の活用を推進。

支援内容	30年度目標	実績
事業計画策定事業者数	50件	69件
事業計画推進に係るフォローアップ件数	50件	49件
創業支援者数	10件	11件
創業支援に係るフォローアップ件数	10件	13件

### (実施結果)

「小規模事業者持続化補助金」等の各種補助金活用に係る事業計画や、経営革新計画、創業計画の実践において、経営指導員の巡回訪問や専門家の派遣を実施した。

事業計画推進に係るフォローアップについては、小規模事業者持続化補助金採択事業者のうち、被災事業者の事業計画遂行について、特に注力して取り組んだ。

## 5. 需要動向調査に関すること【指針③】

### (目的)

岡山市が取り纏めた岡山市内消費者物価指数、日経テレコンPOSEYESから得られるPOS情報、本会が実施する小規模事業者向けアンケート調査の結果等を活用し、地域の小規模事業者が販売する商品や提供する役務の需要動向に関する情報の収集、整理、分析を行う。

また、地域に居住する消費者に向けた「消費動向調査」を実施し、消費者の購買動向の分析を行い、小規模事業者の持続的経営の促進に向けた事業計画の策定に活用する。

これらの調査から得られた情報を小規模事業者に提供し、マーケットインの考え方を浸透させるため、考え方の理解とともに買い手のニーズに応えることのできる商品や役務の開発及び提供に切り替えていくことを目的とする。

### (事業内容)

#### 地域内外の消費購買動向を対象とする調査

岡山西商工会管内地域に居住する消費者を対象に、食糧、住居、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教育、教養娯楽などの消費動向等の各種統計調査資料を活用。

支援内容	30年度目標	実績
各種統計調査及びアンケート調査結果の活用	50回	40回
消費動向調査の実施	未実施	未実施

#### 需要動向調査を活用した事業計画作成支援件数

業種	30年度目標	実績
製造業	15件	13件
建設業	10件	11件
卸・小売業、サービス業	25件	25件
合計	50件	49件

### (実施結果)

管内の消費動向調査（需要動向調査）については、平成28年度に実施したため、本年度は、未実施。事業計画作成支援において、平成28年度調査にて得られたデータを活用した。

各種統計調査やアンケート調査結果の活用については、日経テレコンPOSEYESによるスーパーマーケット等での加工食品・家庭用品のトレンド情報等の活用を始めとする統計調査情報を活用し事業計画作成を行った。

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【指針④】

### (目的)

需要動向調査から得られた分析結果を小規模事業者提供し、買い手のニーズを踏まえて生み出された新商品の新たな需要の開拓について、本会が小規模事業者に対して各種商談会や物産展への出展支援を行い、経営指導員や岡山県商工会連合会との連携により、「新規顧客へのアプローチ方法」、「販売すべきターゲット市場の選定」、「商品・サービスのPR」といった販路開拓支援を行う。

また、出展する小規模事業者自身による商談や商品PRを通じて、商談会参加バイヤーや物産展来場者から、販路拡大に有効活用できる情報の収集を行い、売上の増加に繋げる。

### (事業内容)

#### ①各種商談会や物産展への参加

岡山県商工会連合会や地元金融機関などの各種団体が主催する、県内及び首都圏で開催する商談会や物産展へ出展し、「おかやま桃太郎ブランド認証特産品」を中心とする加工品の販路拡大支援を進めた。

8月 トマト銀行主催トマトアグリフードフェア商談会

開催場所：岡山コンベンションセンター

対象：特産品開発・改良支援事業者

出展事業者：elims(株)

成果：引き合い・商談総件数 7件（内1社成立）

11月 ニッポン全国物産展

開催日：平成30年11月16日～11月18日

開催場所：池袋サンシャインシティ

対象：首都圏消費者約15万人

出展事業者：elims(株)（清水白桃飲むジュレ・甘酒）、  
株手づくりジャム工房（桃トマトジャム）  
有おかもと屋（清水白桃せんべい）  
株板野酒造本店（猿のお酒）

成果：販売金額（3日間合計） 53,230円

## ②販路開拓に必要なノウハウの習得

平成30年9月3日と9月10日の2日間、地域内の外国人観光客に対する対応力の向上を目的に「インバウンド対応中国語接客セミナー」を開催した。

講師に株式会社ミサイ代表取締役である呉 大可（ウー タク） 氏を招き、管内外国人観光客として近年増加している中国人観光客に対し、飲食店関係と交通サービス関係それぞれの業種に対応した接客のノウハウを学んだ。

テーマ：インバウンド対応中国語接客セミナー

講師：呉 大可（ウー タク） 氏（株式会社ミサイ）

日時：平成30年9月 3日「飲食業・小売店向け」 参加者 8名  
平成30年9月10日「タクシー等接客業向け」 参加者 5名

## ③岡山西商工会会員向けポータルサイトの活用による需要の開拓

会員向けに無料で使用可能な本会ポータルサイトへ商品情報等を掲載することにより、インターネットを通じた新規取引先の発掘支援を実施した。

区 分	H30 年度目標	実 績
商談会等参加事業者数	15 社	5 社
テストマーケティング対象者数	5 社	4 社
商談対応セミナー	1 回	2 回
ポータルサイト登録数	200	176

### (実施結果)

商談会等参加事業者数については、1社のみ参加に留まった。11月に池袋サンシャインシティで開催された「ニッポン全国物産展」では、4事業者のブランド認定商品を出展したが、思うような成果に繋がらなかった。

ポータルサイト登録数については、新規加入会員への登録を積極的に進めたが、廃業等による登録削除もあり、176件の登録実績に留まった。

## II. 地域経済の活性化に資する取組

### (目 的)

商工会地域の活性化について協議するため、「岡山西商工会地域振興協議会」を立ち上げ、岡山市経済局・観光協会・学校法人中国学園地域連携センター（地元大学）・地域住民代表者・専門家・マスコミなどにより組織し、年1回の開催にて協議された内容を活性化の方針とする。

また、地域資源を活用した特産品開発による地域ブランド商品の育成と、桃太郎伝説に纏わる名所や備中高松城址等の歴史的な史跡を活用した観光開発を実施し、首都圏及び関西圏や近県に向けた、地域の歴史観光と特産品との相乗効果を持たせたPRを進め、域外からの観光客を中心とする消費の増加を図る。

(事業内容)

### ①地域ブランド商品の育成推進

地域資源活用事業として、岡山市・学校法人中国学園（地元大学）・専門家・マスコミ・岡山県商工会連合会の参画による「経営発達計画推進委員会」が中心となり、小規模事業者が地域資源を活用して行う新商品開発や販路拡大についての総合支援を実施。

開発された商品については、「おかやま桃太郎ブランド認証特産品」として認証し、地域ブランド商品としての育成を推進。

また、管内の歴史に纏わる多くの史跡・旧跡と地域ブランド商品を紹介する観光PRパンフレットを発行し、観光PRと地域ブランド商品の販売促進に繋げた。

### ②地域のブランド化及び賑わいの創出

#### 観光PRパンフレットの配布

歴史に纏わる多くの史跡・旧跡と地域ブランド商品を紹介する観光PRパンフレット「行ってみよう今こそ岡山、吉備の国」を増刷し、首都圏や関西圏、県内観光施設へ継続配布し、本会地域への観光客流入を行った。

区 分	H30 年度目標	実 績
地域振興協議会の開催	1 回	1 回
新商品開発参加事業者数	10 社	19 社
観光パンフレット配布	5,000	4,500

(実施結果)

#### 【地域ブランド商品の育成推進】

地域ブランド商品を製造販売する19事業所について、国内や海外バイヤーを招聘した各種商談会等の情報提供を行い、販路開拓支援を行った。

#### 【地域のブランド化及び賑わいの創出】

##### 観光PRパンフレットの配布

観光PRパンフレットを4,500部増刷し、首都圏や関西圏、県内に向けて歴史観光ルート・地域ブランド商品の紹介を行った。

### Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

#### 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

(目 的)

岡山市をはじめ、岡山県商工会連合会や岡山県よろず支援拠点等の他の支援機関との連携を密にし、管内小規模事業者の需要の動向や支援ノウハウを収集し、本会の事務局

会議にて支援ノウハウや情報の共有を図り、支援力の向上に繋げる。

(事業内容)

**①他の支援機関が参画する会議・研修会での情報収集**

・ 岡山県商工会連合会主催広域連携会議

岡山県商工会連合会及び県内商工会が参加する広域連絡会議に出席し、経営発達支援計画の取組み状況や支援ノウハウについての情報収集を行った。

・ おかやま創業ネットワーク連絡会議 (5/10)

岡山市及び岡山市内に所在する支援機関が一同に会し、岡山市内におけるワンストップ創業支援の具体的な進め方について協議し、情報共有とともに支援ノウハウの習得を行った。

**【おかやま創業ネットワーク支援機関】**

岡山市、岡山県商工会連合会、岡山市内商工会、岡山商工会議所、岡山県産業振興財団、岡山県中小企業団体中央会、

(公財) 岡山県産業振興財団、日本政策金融公庫岡山支店、

(一社) 岡山県中小企業診断士会、(株) 中国銀行、(株) トマト銀行、おかやま信用金庫、(特非) ビジネス・インキュベーター岡山

・ 商工会・金融機関による支援連携推進会議 (9/5)

独立行政法人中小企業基盤整備機構中国本部の地域支援コーディネーターと連携し、管内金融機関と本会それぞれの強みを活かした実践的な経営支援体制の構築を図った。本会経営指導員による小規模事業者への具体的な支援事例や、金融機関側からの小規模事業者に対する支援内容について情報交換を行った。

**【出席者】**

中国 銀行 (庭瀬支店、岡山流通センター支店、稲荷支店)

トマト銀行 (庭瀬支店、吉備津支店)

百十四銀行庭瀬支店、おかやま信用金庫吉備支店、

吉備信用金庫 (高松支店、足守支店)

日本政策金融公庫岡山支店国民生活事業

中小企業基盤整備機構中国本部

岡山西商工会

(正副会長、事務局長、支援課長、支援課長補佐、経営指導員 3名)

**②専門家との連携による情報収集**

独立行政法人中小企業基盤整備機構中国本部の地域支援コーディネーターと連携し、小規模事業者の需要の開拓に関する効果的なアンケートや事業計画の作成について情報共有を進め、支援テーマに対応した専門家派遣を実施した。

**③他の支援機関職員との帯同巡回訪問による支援ノウハウ等の情報交換**

国等の補助金・助成金等の活用を望む小規模事業者について、日本政策金融公庫岡山支店国民生活事業職員や岡山県商工会連合会職員との帯同による巡回計画を策定し、吉備、高松、足守の3地区の経営指導員による帯同巡回訪問を実施。

#### 他の支援機関との帯同巡回訪問

連携先支援機関	巡回テーマ	回数
岡山県商工会連合会	経営改善	11回
岡山県よろず支援拠点	事業計画・法人化	17回
岡山県産業振興財団	事業承継	4回
岡山県事業引継ぎ支援センター	事業承継	7回
㈱日本政策金融公庫岡山支店	金融	3回

#### (実施結果)

岡山県商工会連合会や岡山県事業引継ぎ支援センターとの帯同巡回による経営改善・事業承継支援から事業計画の作成に繋がったほか、日本政策金融公庫国民生活事業との帯同巡回訪問を通じて、小規模事業者経営改善資金融資（マル経融資）に繋がった。

## 2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

### (目的)

岡山県商工会連合会や独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施する各種研修に経営指導員が出席し、支援能力の向上を図る。

また、小規模事業者の利益の確保に資する支援ノウハウの習得と併せて組織内での共有体制を整備し、経営指導員の更なる資質の向上を図る。

### (事業内容)

#### ①岡山県商工会連合会主催：経営指導員研修・職員研修への参加

小規模事業者の持続的発展やライフサイクル全般の支援スキル、地域全体を活性化する仕組み作りのスキルの習得等、小規模事業者に対する経営指導員の支援能力の向上を図った。

#### ②独立行政法人中小企業基盤整備機構主催：中小企業支援担当者等研修への参加

経営指導員の職務経験に対応した研修を受講し、支援能力の向上を図った。

専門研修：職務経験5年以上の経営指導員が専門知識・分析力・実践力の向上に資する手法を習得

経営指導員2名受講

研修内容：①ビジネスマッチング支援の進め方

②創業・新規事業・持続化支援の進め方

### ③OJTによる支援能力の向上と情報共有

独立行政法人中小企業基盤整備機構の地域支援コーディネーターを経営指導員会議に招き、事業計画作成に係る支援スキルの向上を進め、経営指導員間との情報交換を図り、指導内容や情報収集方法の共有を進めた。

高度専門的課題の解決にあたっては、岡山県商工会連合会広域サポートセンター職員（中小企業診断士等）と連携し、指導・助言内容・情報収集方法を学んだ。

#### （実施結果）

経営指導員会議を月1回、定期的で開催し、各経営指導員からの小規模事業者支援の内容について、より効果的な支援に繋げるための協議を実施。これにより、専門的経営支援のスキル向上に繋がっている。

### 3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

#### （目的）

民間シンクタンク等の有識者による事業評価と見直しのための仕組みを構築するとともに、本計画の実施状況及び成果については、毎年度、以下の方法により評価・検証を行う。

#### ①「経営発達計画推進委員会」の設置

経営発達支援事業の成果の評価及び見直しをする機関として、外部有識者、岡山市、岡山県商工会連合会担当で構成する「経営発達計画推進委員会」を構成し、事業の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行う。

#### ②本会役員からの意見徴収

本会の総務企画委員会において事業遂行状況を報告し、評価と見直しの方針に係る意見徴収を行います。

#### ③事業の成果・評価・見直し結果の報告

事業の成果・評価・見直しの結果については、本会理事会へ報告し、決定・承認を受けることと致します。

#### ④事業の成果・評価・見直しの結果の公開

事業の成果・評価・見直しの結果については、岡山西商工会ホームページを作成し、事業実施期間中公表することで小規模事業者への幅広い情報提供を行うとともに、本会総代会にて総代会資料への掲載により報告し、小規模事業者への周知徹底を図ります。